

【単年度事業評価様式】

**金沢区地域子育て支援拠点事業
令和5年度重点目標評価結果・令和6年度重点目標**

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(2年度目/5か年度)
事業の実施者	公益財団法人 横浜YMCA 金沢区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 金沢区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和5年度重点目標の評価

令和5年度重点目標	①「地域deとことこ」を充実させ、地域の方々とともに子育て支援の裾野を広げていきます。 ②拠点事業を通じて、特に、妊娠期～乳児期の親子が安心して子育てができるよう取り組みます。
取組内容	①拠点スタッフが地域に出向き、子育ての相談対応や情報提供等を行い、参加者同士や参加者と地域の方々がつながる取組を継続していきます。地域の方と一緒に「地域deとことこ」を開催することで、地域を身近に感じられるような居場所として定着できるよう取り組みます。 ②-1テーマ別交流会や対象を明確にした会(はじめてのとことこ・タッチケア・多文化ママのお話会・プレママDAY・パパDAY等)、プレパパプレママ教室等を開催し、多様な親子にとって、利用しやすい環境を整えます。 ②-2横浜子育てサポートシステムの新規事業が始まることで、妊娠期から制度の認知度を上げるとともに、本来の目的である「地域の中での預け預かりあり」を利用・提供会員それぞれが体感できるよう推進していきます。
取組の成果	①「地域deとことこ」は3年目を迎え、開催場所は13か所、104回(令和4年度は12か所、101回)実施し、地域の居場所として定着しています。「地域deとことこ」をきっかけに地域イベントに乳幼児親子の参加が増えるなど、地域をつなぐ架け橋となっています。令和6年度に向けて継続開催の依頼や、新規開催場所の提供を受けるなど、地域の方からの期待や信頼も得られており、地域全体で子育てを応援する風土ができてきました。 ②-1テーマ別交流会や対象を明確にした会(はじめてのとことこ・タッチケア・多文化ママのお話会・プレママDAY・パパDAY等)を設定したことにより、プレママプレパパや多様な親子が利用するきっかけとなっています。特に、「タッチケア」は、令和5年度から月2回開催になり、定員を11組(追加枠3組)に拡大しました。オンラインでの参加も含め、多くの親子にご参加いただきました。また、休館日を活用した「とことこパパDAY」は、トライアル期間を経て、令和5年度より月1回開催。父親同士の交流のきっかけとなっており、年間を通して父親のひろば利用が増加しました。(令和4年度:331組⇒令和5年度:799組/前年度から2.4倍増) ②-2 子育てサポートシステム新規事業が7月からスタートしました。「子サポdeあずかりお試し券」の発行は73件(584枚、うち利用は148枚)でしたが、利用料金改定によるサポート依頼が急増し(令和4年度152件⇒令和5年度276件/前年度比1.8倍増)、横浜子育てサポートシステムを利用する後押しとなりました。
取組の課題	②-1対象によって、参加者数のバラつきがありました。多文化ママ交流会やプレママDAYは毎回の参加者は少ないものの、参加された方にとっては満足いく内容なので、開催日時・場所や必要な方に情報が届くよう工夫が必要です。 ②-2 「子サポdeあずかりお試し券」の発行や料金改定により、依頼数が急増したことに伴い、サポートを担う提供会員不足解消が急務となっています。気軽に利用できるようになった反面、「地域の中での預け預かりあり」という本来の目的について、入会説明会時に説明をしているものの、特に利用会員がどこまで理解されているのか疑問に感じる依頼も増加しています。

次年度重点目標

令和6年度重点目標	子育てを応援くださる方の発掘と育成を区と拠点が協力して行い、金沢区全体として子育て家庭をあたたく見守る人材が増えている。また、前向きな子育てを心がける支援者や養育者が増えている。
取組内容	①かなざわっこを共に育む応援プロジェクトを始動します。 ・子育て応援ボランティア募集を精力的に行い、子育てを共に応援くださる方を増やします。 ・子育て支援活動の一助となるよう、子育て支援にかかわる方を対象にした講座を上期と下期に開催します。 ②「金沢八っさく(子育て練習室)」※講師養成講座を開催し、地域の居場所や保育現場等で活用していただけるよう取り組みます。 ※お子さんへの前向きな声がけなどをロールプレイング形式で練習する講座。